



平成 28 年 3 月 23 日

各 位

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2016」
最優秀運用会社（株式部門） 3年連続受賞!!
株式部門での3年連続受賞は、GDP上位5ヶ国では史上初!!

スパークス・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長 阿部修平）が、リップパー・ジャパン選定による「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2016」において、3年連続で「最優秀運用会社（株式部門）」を受賞したことをお知らせいたします。



WINNER OF THE 2016
THOMSON REUTERS
LIPPER FUND AWARDS
JAPAN

リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2016
最優秀運用会社（株式部門）

当該受賞は、単に1つのファンド、1つの投資戦略に対するものではなく、日本の株式運用会社として総合的に認められた証であり、創業以来変わることのない投資哲学を忠実に実践してきたことをご評価頂いたものと、大変光栄に存じております。

今回の受賞を励みに、今後とも一層の商品開発力と運用力の向上を図り、お客さまにご満足いただけるサービスを提供し続けるよう努力してまいるとともに、より多くの皆様に「日本株・アジア株といえばスパークス」と認知していただけるようブランド構築を積極化してまいります。

なお、当該アワードにおける評価方法等については、別紙をご参照下さい。

リップパー・ファンド・アワードの評価の基となるリップパー・リーダーズのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リップパー・リーダーズが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リップパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

- 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・アセット・マネジメント株式会社
リテール BD マーケティング部
TEL:03-6711-9170
受付時間:営業日の9時~17時



【別紙】

「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2016」について

「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2016」は、世界各都市で開催している「Lipper Fund Awards」プログラムの一環として行われ、日本において販売登録されている国内および外国籍ファンドを対象に、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。選定/評価に際しては、リップパー独自の投資信託評価システム「リップパー リーダー レーティング システム (リップパー リーダーズ、Lipper Leaders)」の中の「コンシスタントリターン(収益一貫性)」を用いています。

評価方法について

① 最優秀ファンド評価方法

- ・ 評価対象ファンドは、日本国内で販売されているファンドのうち、2015年末時点で36カ月以上の運用実績のあるファンドです。
- ・ リップパー独自のファンド分類を用い、1つの分類に上記該当ファンドが10本以上(確定拠出年金部門は5本以上)存在するすべての分類(「その他セクター」分類を除く)を評価対象とします。
- ・ 評価期間は、「3年間」、「5年間」および「10年間」とし、リップパー独自の投資信託評価システム「リップパー リーダー レーティング システム(リップパー リーダーズ)」で採用している「コンシスタント リターン(収益一貫性)」と同様の評価を行い、各分類の最優秀ファンドを選定します。

② 運用会社アワード評価方法

- ・ 債券部門、株式部門、ミックスアセット部門、総合部門において、最優秀運用会社を選定します。
- ・ 債券部門、株式部門においては5本、ミックスアセット部門においては3本、該当部門のファンドを有する運用会社を評価対象とします。総合部門については、債券部門、株式部門においてそれぞれ5本以上、ミックスアセット部門において3本以上のファンドを有する運用会社を評価対象とします。
- ・ 債券、株式、ミックスアセットの各部門の評価では、評価期間を3年間として、対象運用会社の該当ファンドすべてについて、上記「コンシスタント リターン(収益一貫性)」を基にした評価を行い、運用会社ごとの該当ファンド平均値にてランキングし、最優秀運用会社を選定します。総合部門も同様の評価方法を用いて、運用会社ごとの該当ファンド平均値にてランキングし、最優秀運用会社を選定します。



投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第 37 条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々の投資信託に適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なるため、費用の料率はスパークス・アセット・マネジメント株式会社が運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定の投資信託の取得をご希望の場合には、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断で行っていただくようお願いいたします。

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託証券などの値動きのある証券等（外貨建て資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。

ロング・ショート戦略のファンドは売建て（ショート・ポジション）取引を行いますので、売建てた株式が値上がりした場合、基準価額が下落する要因となります。また、ロング・ポジションおよびショート・ポジションの双方が誤っていた場合、双方に損失が発生するために、通常の株式投資信託における損失よりも大きくなる可能性があります。

上記は投資信託に係るリスクの一部を記載したものであり、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

投資信託に係る費用について

当社における公募投資信託に係る費用（料率）の上限は以下のとおりです。

●直接ご負担いただく費用

購入時手数料	: 上限 3.78%（税込）
換金手数料	: なし
信託財産留保額	: 上限 0.5%

●投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	: 上限 2.052%（税込）
実績報酬（※）	: 投資信託により、実績報酬がかかる場合があります。

※ 実績報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

※実績報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額を示すことができません。

その他の費用・手数料：監査費用、目論見書や運用報告書等の作成費用など諸費用等ならびに組入有価証券（ファンドを含む）の売買の際に発生する売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建て資産の保管費用等を信託財産でご負担いただきます。組入有価証券がファンドの場合には、上記の他に受託会社報酬、保管会社報酬などの費用がかかる場合があります。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ 投資信託により異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。

<委託会社>

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局（金商）第 346 号

加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会